平成 26 年(2014 年)1 月 23 日
廃棄物減量等推進審議会
（第 54 回）　資料 1－1(別紙))

循環資源の再資源化の主な内容　（平成24年度実績）

《 排 出 量 》　《 処理・資源化量 》　《 資源化の内訳 》

定日収集・4分別

《 排 出 量 》		《 処理・資源化量 》		《 資源化の内訳 》		
燃せるごみ	66,835t	焼 却	101,734t	焼却灰	7,493t	溶融処理などの後、土木工事資材など
不燃ごみ	5,727t	圧縮減容（減容固化施設）	埋立て 6,480t			
缶・びん・ペットボトル	7,055t	資源化（リサイクルプラザ）	21,302t	スチール缶	881t	スチール缶、建設鋼材など
				アルミ缶	753t	アルミ缶、アルミサッシなど
				ガラスびん	2,184t	ガラスびん、断熱材など
				ペットボトル	1,617t	繊維製品、卵パック・ペットボトルなど
容器包装プラスチック	7,797t			容器包装プラ	8,682t	コークス炉化学原材料化
				紙パックほか	5,431t	段ボールほか紙製製品
				ガラス残さ	1,288t	タイル・ブロック材料、工事資材など
許可収集、直接搬入ほか	33,588t	ごみの種類に応じて焼却・埋立て・資源化				
粗大ごみ	3,163t	破砕（粗大処理施設）	破砕不適処理 33t			
集団資源回収	28,521t	売 却	23,079t	新聞紙・雑誌	23,079t	新聞紙・雑誌、印刷用紙など
				古着・金属ほか		繊維原料、建設資材など
廃乾電池	101t			廃乾電池、粗大金属ほか	299t	鉄・亜鉛等を回収し、金属素材など